



ごあいさつ ~ 令和4年12月定例会を終えて ~

皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。またコロナ感染症への対応にご尽力頂いている、すべての皆様に心より感謝と敬意を表します。

議会に身を置かせて頂き、まもなく2期8年の歳月が経過致します。この間、地元の皆様の負託に応えるべく、様々な議論を通じて、**議会制民主主義**の理念や運用ルールを学ばせて頂きました。

とりわけ昨今の我が国を取り巻く国際環境の状況と、**全体主義国家の暗躍**は、改めて民主主義とは何か、という問いが私たちに投げかけられているように思えます。**一人一人が主役の社会**を形成する為にも、地域の意見を丁寧に聞き、決定していくという民主的でありつつも、まどろっこしい手続きを、面倒臭がらずに**誠実**に実践する積み重ねの中に、幸せな日常と、発展する社会の要素が散りばめられていると確信いたします。

令和4年度、第4回定例会が11月29日から12月20日まで22日間の日程で開催され県政報告を取りまとめました。ご高覧頂けたら幸いです。

【一般質問通告】

1. 県財政について

- ① 公債費の状況について ② 県債について ③ 基金の一括運用の状況について
- ④ コロナ対策経費について

1. 雇用関係について

- ① 有料職業紹介事業者数と無料職業紹介事業者数について
- ② 企業の職員定着向上を図る為の県の取組について

1. 看護師確保策について 1. 保育士確保策について

1. スポーツコンベンションセンターについて

1. 介護福祉・障害福祉行政について

- ① 共生型サービスについて ② ワンストップ相談窓口について
- ③ 医療的ケア児支援センター開設の意気込みについて

1. 県アジア・太平洋農村研修センター(カピックセンター)について

1. 資材価格高騰への県の対応と設計単価への反映について



【補正予算】

国では、物価・景気の状態を把握し、状況に応じた迅速で総合的な対応に切れ目なく取り組む事とし、9月9日には食料品価格高騰対策、エネルギー安定供給対策、地方創生臨時交付金の増額を主な内容とする「原油価格・物価高騰」に係る追加策が取りまとめられました。

10月28日には、物価高騰・賃上げへの取組、円安を活かした地域の「稼ぐ力」の回復・強化、「新しい資本主義」の加速などを柱とした、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を決定し、県では、原油価格・物価高騰対策に係る11月補正予算54.8億円を編成、11月臨時議会において議決しました。

また今議会の開会初日には、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の徹底を図るため、更なる医療体制、ワクチン接種体制の確保等に要する経費や、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業者等の経営改善支援に係る経費、台風第14号等による被害への災害復旧事業に要する経費、公共事業及び県単公共事業の発注・施工時期の平準化等を図るための債務負担行為（ゼロ県債、ゼロ国債）等、50億円余りの補正予算案が議決されました。

さらに今議会の最終日には、国の総合経済対策

に対応した、本県旅行商品の割引や商品クーポンの付与を通じた観光需要の回復を図る取組、妊婦・子育て家庭に対する伴走型相談支援と経済的支援の一体的な取組、公共事業等に要する経費、また高病原性鳥インフルエンザの発生に伴う緊急防疫対策等に要する経費や、移動制限により出荷遅延等の影響を受けた農家に対する支援に要する経費など、381億円余りが追加提案され、議決しました。



【国体・大会関係】

本年開催された「とちぎ国体」では、なぎなた競技や陸上競技など、10競技12種目での優勝、29競技95種目で入賞を果たし、天皇杯14位、皇后杯12位と、前回の茨城大会を上回り、目標の10位台を達成しました。また、全国障害者スポーツ大会の「とちぎ大会」でも、陸上やフライングディスクなど7競技で、過去最多となる61個のメダルを獲得するなど、優秀な成績を収めました。

来年の「かごしま国体」での天皇杯・皇后杯の獲得に向けて、少年選手の強化や有力な成年選手の確保、優秀指導者の招へい等に取り組む、引き続き、競技団体と連携して、競技力の向上が目指されます。両大会が「コロナ禍からの再生と飛躍」を象徴し、県民・全国の皆様にとって素晴らしい、思い出に残る希望に満ちた大会となる事が求められます。

【サツマイモ基腐病】

「県サツマイモ基腐病対策アクションプログラム」に基づき、健全種苗の確保、ほ場の排水対策や異常株の早期抜き取りなどが取り組まれてきました。本年産は、葉やつるに1株でも基腐病の症状が見られたほ場の面積が、作付面積の35%に当たる約3,500haとなり、昨年より約4,200ha減少しました。

令和5年産に向けては、生産者に対し、収穫直後の残渣の持ち出しと早期耕うんなど「残さない」対策や、苗床や種いもの消毒など「持ち込まない」対策等について、講習会や個別巡回により指導が行われています。

【全国和牛能力共進会】

10月6日から10日にかけて、本県で開催された「第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会」では、出品した「鹿児島黒牛」は全9部門中6部門で首席となり、また「種牛の部」の「第4区繁殖雌牛群」で内閣総理大臣賞を受賞するなど、「和牛日本一」の栄冠に輝きました。

また、県内外から30万人を超える方がお越しになり、和牛の美味しさはもちろん、鹿児島の「食」、「観光」、「文化」など本県の魅力を満喫して頂きました。

県では、地元新聞や全国紙を活用して、「和牛日本一」のPR、全国ネットでのテレビや、羽田空港・鹿児島中央駅等での広告ビジョンによる動画放映、県庁や鹿児島空港での看板設置、SNS発信などを行いました。また、全国の「鹿児島黒牛」販売指定店や、大都市圏等の飲食店で「鹿児島黒牛日本一フェア」を実施しています。海外向けには、大会直後にフランスやシンガポールで開催された食品展示会・商談会において出

展・PRし、来年1月には米国・ラスベガスで開催される食品展示会でも、PRが予定されています。更なる「鹿児島黒牛」の販路拡大と、次回北海道大会での「和牛日本一」を獲得できるよう、鹿児島黒牛の更なる改良と出品対策の強化が求められます。



野村農林水産大臣と

【林業・水産業振興】

木の良さや木材利用の意義などを広く県民にPRするため、「木材利用促進月間」である10月に「かごしま木材まつり木製品展」や「『かごしま木の家』づくりセミナー」などを、11月は「CLT等を活用したかごしま材利用セミナー」が開催されました。

また、水産業の振興については、新規漁業就業者の確保・育成を図るため、11月11日～12日に、漁業就業希望者を対象に漁業の基礎知識に関する講義や漁業体験などを行う「かごしま漁業学校」の入門研修が開催されました。併せて、水産加工業者の技術向上等を図るため、10月27日に、第56回水産物品評会が開催されました。

【企業立地懇話会等】

11月24日、大阪で「企業立地懇話会」が市町村と連携して開催され、関西・中部地区に本社を置く企業に本県の優れた立地環境がPRされました。

今年度はこれまで、京セラ川内・国分工場の増設や、昨年度から補助制度を拡充し誘致強化を図っている情報通信関連企業の新設及び増設など、26件の立地が決定しています。

アジアに近い地理的優位性や電子・自動車関連産業の集積、都市部にはない生活環境など、鹿児島の特性を生かした企業立地の推進が求められます。

【トップセールス】

パリのルーヴル美術館で「日本の食文化を世界に」をテーマとする「北前船寄港地フォーラム」が開催され、10月17日～20日には知事によるトップセールスが行われました。在仏日本国大使公邸のレセプションでは、多くの現地バイヤーやメディア等に、「日本一の和牛」やブリ、お茶、本格焼酎等の県産品の魅力が紹介されました。出席者からは、「和牛は口の中で溶けるようすばらしい」、「焼酎は香り豊かで飲みやすい」との高評価であったとの事。

また、本格焼酎のトップセールスを行った大手酒類卸店では、「112ある蔵元に独自のストーリー性がある事」や「スピリッツの中でも低アルコールで事が現地の若者のトレンドに合う事」など、フランス市場における本格焼酎の販路拡大の潜在可能性について言及があったようです。今回、本県の次なる輸出目標額が500億円に設定されました。



森山代議士より、県議選公認証。(12月17日)

令和4年12月吉日
自民党県連政調会長
県議会議員 郷原拓男

《 略 歴 》

西原台小・第一鹿屋中・鹿屋高校卒業
H14 大阪大学経済学部卒業
H14 日本航空 (JAL) 入社
H21 鹿児島大学院 農学研究課修士取得

《 県議会所属委員会 》

令和4年度
文教観光委員会 所属
県議会デジタル化検討委員会 委員長

《 自民党県議団役職 》

- ・自民党県連 政調会長
- ・自民党鹿屋支部 支部長
- ・子供・子育て調査会 会長
- ・畜産振興調査会 事務局長
- ・建設問題調査会 事務局長
- ・西原台小学校 PTA 副会長

市内各地にて
『三二集会』を開催します！

県政報告は、いつでもどこへでも
お伺いします。
地域の課題を教えて頂き、
県政に届けて参ります！

ごうはら拓男事務所

～ふる郷を拓く～

〒893-0057 鹿児島県鹿屋市今坂町 12403-10
電話 0994-45-7801 FAX 0994-44-6715
メールアドレス t@gohara.net

